

放課後等デイサービス自己評価表（職員による評価）

公表：令和元年10月

事業所名：こども発達支援センター

放課後等デイサービス（保育所等訪問支援含む）職員の回答数 8名

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8				基準内の利用定員となるように配慮している。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	3			子ども達の活動が保障できるように職員配置を行っている。また、学生ボランティアも活動の中に入り、活動の援助や子ども個別のフォロー等の必要な動きをしてもらっている。
	3 生活空間は、子どもに分かりやすい環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1			スケジュールや約束事を掲示する等、子どもに合わせて環境設定している。玄関までのスロープ設置と館内には段差がないようになっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	8				館内清掃を外部に依頼と、職員による定期的な安全点検と清掃を行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1		1	定期的に業務改善の会議を行いPDCAサイクルの確認を行っている。会議に直接参加していない職員にも、内容の周知や実際の取組に参加してもらっている。
	6 保護者等向けアンケートや評価表を活用する等により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			1	保護者向けに実施したアンケートの結果や普段の保護者との話などから保護者の意向を把握し、今後の取り組みに繋げていく。
	7 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			1	昨年度実施した自己評価を館内の掲示板やホームページにて公開している。今回の自己評価も同様に行う。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		2	当センターでは定期的に第三者評価を受け、改善を行っている。今年度、第三者評価を受ける予定。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8				所内での研修会実施や外部の研修会等への参加を行っている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか	8				保護者と面談を行って保護者の思い等を聞き取り、面談や活動中の子どもの様子を評価し、個別支援計画書を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		1	保護者との面談時に聞き取る項目を示したものを使用している。公的な評価用紙を用いて子どもの行動を評価している。
	12 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			1	様々な遊びや創作活動等の集団活動を通して、友だちと関わる楽しさを感じたり友だちとの関わり方等を知る取組を行っている。
	13 個別支援計画書に沿った支援が行われているか	6	1		1	計画書に記載された内容に合わせた取組を行っている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		1	複数名で活動プログラムについて検討して実施している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			1	活動プログラムが固定化しないようにグループ毎に毎回の活動を検討している。
	16 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			1	平日と土曜日・長期休暇の日とのそれぞれの通所時間に合わせて、活動プログラムを設定して取り組んでいる。
17 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて個別支援計画書を作成しているか	7			1	子どもの様子や課題に応じて集団を設定し、必要な子どもには個別活動も組み合わせさせている。取り組み方法に合わせて個別支援計画書を作成している。	

	18	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8				事前に、その日通所する子どもや活動内容、職員の動き等を検討、確認している。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8				その日または後日に、活動時の子どもの様子や職員の動き等の気付いた点を確認している。	
	20	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		1	日々記録を行い、子どもの様子から次回の活動や支援内容に繋げている。	
	21	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか	6	1		1	全ケース、半年に1回は見直しを行い、新たに個別支援計画書を作成している。半年の期間内に見直しが必要なケースには、随時修正を行っている。	
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業のサービス担当者会議、関係機関や施設との連携会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		1	その子どもの情報や課題を把握している職員が参加するようにしている。	
	23	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換等）、連絡調整（トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		1	保育所等訪問支援事業を併用していただくなど支援を強化し、学校に訪問を行い、学校の先生と情報共有等を行っている。	
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						現在、医療的ケアが必要な子どもの受け入れを行っていない。怪我等で医療対応が必要な際には、当センター診療所と連携したり救急対応マニュアルに基づいて対応している。
	25	通所前に利用していた相談支援事業所や障害福祉サービス事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1			1	保護者を通じて他事業所での様子を聞き取ったり個別支援計画書を受け取ったりしている。必要時には他事業所と直接連絡を取り合い情報共有を深めていく。
	26	事業所を退所し次の障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2			1	当事業所を終了する際には、それまでの子どもの様子や次の取組をまとめた書面を作成し、保護者に説明して手渡している。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1			1	当センター内にある診療所の担当医師や専門職、児童発達支援センター職員からの助言や研修、京都府や保健所等が主催の研修等を受けている。
	28	他機関・施設を合わせて利用されているケースに対して、保護者の話や訪問等を通して、連携や情報共有をした支援を行っているか	7				1	保護者の話を聞いたり訪問を行ったりして、学校での子どもの様子や取組について連携や情報共有を行っている。今後、他事業所とも連絡を取り合い情報共有を深めていく。
	29	各市町の自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	7				1	参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8					毎回の通所後には、その日の活動や子どもの様子を保護者に伝える時間を設定している。定期的に保護者と面談を行う機会を作っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して特別な支援を行っているか	7	1				個人面談の中で、子どもの特性や関わり方等の話を行っている。保護者向けの学習会を7月と9月に実施。
保護者への説明責任等	32	重要事項説明書、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				通所開始前に見学や説明会を行い、支援内容等を説明している。通所契約時に重要事項説明書や利用者負担等を説明する機会を設定している。	
	33	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				毎回の通所時に、保護者の悩みや相談を書いてもらえるようにしている。子ども達が通所する前の時間帯や土曜日等で保護者からの相談を受けている。	
	34	保護者同士が話したり相談したりできる環境を作れているか	6	1			1	保護者同士が様々な話をしてもらえる交流会の場を年4回（5月と2月）実施。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				1	苦情が出た際の対応体制を整備している。保護者にも苦情がある場合の申し出先や連絡場所を、重要事項説明書等で伝えている。
	36	定期的に保護者への伝達や会報発行等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや	8					毎回の通所後に、活動概要や行事予定等を連絡している。年間の行事予定や特別

	保護者に対して発信しているか					な活動を行う際には、書面にて配布連絡もを行っている。	
37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8				保護者の了解を得られていない個人情報を外部に出さないようにしている。持ち出す際には、氏名等の個人が特定される部分を削除している。	
38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				子どもや保護者の様子に合わせたコミュニケーションとなるように配慮している。	
39	各市町の機関や地域の施設からの見学、実習生やボランティア受け入れ等、開かれた事業運営を図っているか	8				他事業所からの見学や、近隣の大学等からの実習生やボランティアの受け入れを行い、当事業所での取組を広く知ってもらえるように取り組んでいる。	
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8				緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している。保護者にも見てもらえる場所に各種マニュアルを設置している。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8				全8クラスそれぞれ年間1回は避難訓練を行えるように、年間の行事予定を決めて実施している。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				虐待防止に関する研修会に参加している。当センター内で虐待防止委員会を設置し、組織的にも予防に努めている。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか	5	3			事業所建物からの飛び出しを防止するマニュアルを策定し、対応方法を決めている。子どもの特性から身体拘束の必要性が高い場合には担当医師も含めた組織として検討を行えるようにしている。そのようなケースが出てきた際には、保護者への説明と個別支援計画書への記載を行うようにする。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3		1	食事提供を行っていないので、医師の指示書の確認までは行っていない。保護者にアレルギー等の保健に関する情報を書いている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8				当センター内で発生したヒヤリハットに関して、報告書を作成し、全体周知や職員回覧、報告書をまとめて保管している。また、当センターに事故防止検討委員会を設置し定期的に報告と対策について協議したり、事例検討会を実施したりして、職員の意識向上をはかっている。